

平成28年度 生徒による授業評価

【1】 授業評価の流れ

5月	調査方法・評価項目等の検討
7月	第1回の授業評価実施
8月	集計結果の分析、課題と解決の手立ての検討
9～11月	分析結果をもとに、研究授業等の授業改善に取り組む
12月下旬	第2回の授業評価実施
2～3月	集計結果の分析、改善状況と今後の課題の検討

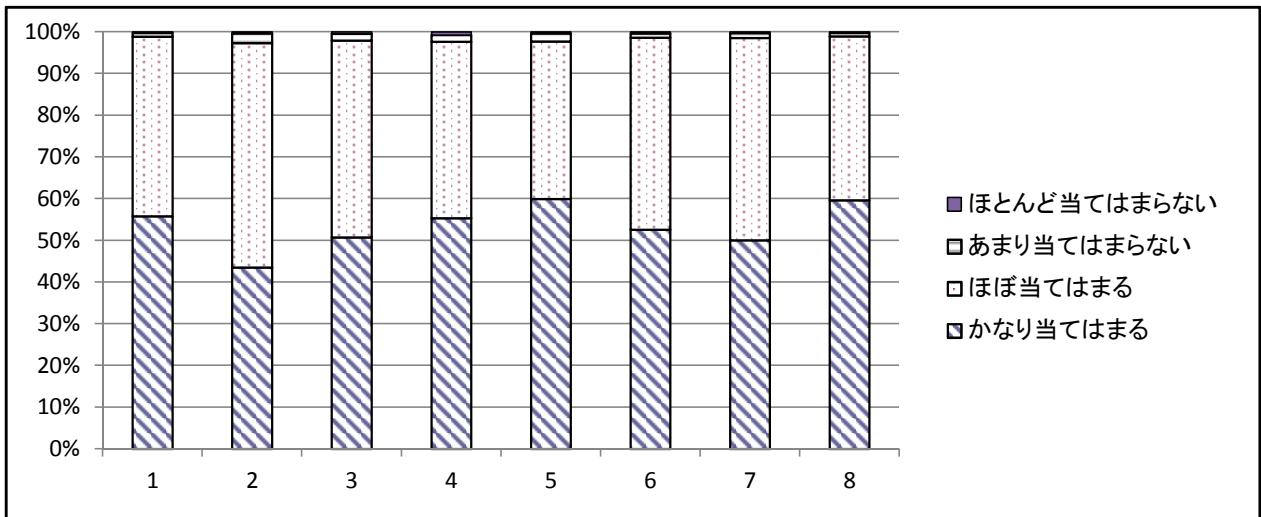
【2】 授業評価の結果

生徒による授業評価の結果は次の通りです。

項目 評価	上段: 実数 下段: 割合 (%)							
	1	2	3	4	5	6	7	8
	授業の準備・教材の工夫	授業の充実感	授業の進め方	生徒主体の授業の工夫	説明の分かり易さ	生徒への接し方	生徒自身の学習への取り組み	生徒自身の態度・姿勢
4 かなり当てはまる	2609 55.8%	2034 43.5%	2373 50.7%	2587 55.3%	2803 59.9%	2458 52.6%	2341 50.1%	2789 59.7%
3 ほぼ当てはまる	2012 43.0%	2517 53.8%	2207 47.2%	1979 42.3%	1766 37.8%	2152 46.0%	2265 48.4%	1837 39.3%
2 あまり当てはまらない	43 0.9%	106 2.3%	75 1.6%	74 1.6%	88 1.9%	49 1.0%	56 1.2%	39 0.8%
1 ほとんど当てはまらない	11 0.2%	19 0.4%	21 0.4%	36 0.8%	19 0.4%	17 0.4%	14 0.3%	10 0.2%

※各項目の評価割合において、小数第一位を四捨五入している為、100%にならないところがあります。

グラフ資料



【3】 授業評価結果の分析

- ① 授業の内容や指導方法に関する項目(1～6)においては、すべての項目で「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」の合計は、昨年度と同様95%を超える高い評価を得ました。生徒は概ね授業には満足していると考えられます。今後もより一層、生徒がわかりやすい授業を目指して、授業内容の充実や指導方法の工夫等の努力を積み重ね、生徒が興味・関心を持って学習に取り組めるように授業改善を進めてまいります。
- ② 生徒自身の授業への取り組み、態度・姿勢に関する項目(7～8)においても、「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」の合計は、昨年度と同様に95%を超える高い評価結果になりました。多くの生徒が積極的に授業に参加し、しっかり取り組んでいると考えられます。その一方で、家庭学習の取組や授業に対して理解しようとする意欲等について、やや不足している生徒もおります。来年度も、そうした生徒の学習意欲の向上と学習習慣の確立を図っていくため、授業研究等を深化し、毎日の授業に反映出来るように努力いたします。

【4】 まとめ

生徒による授業評価のすべての項目において、肯定的評価では、「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」が昨年度とほぼ同様に高い評価となり、この結果を鑑みると、学校目標である「基礎学力の定着と発展的な学力の伸長を図る」等が十分達成できたものと考えられます。本校の様々な授業改善の取組が正しい方向に進み、成果を上げたものであると確信しております。

本校では、授業改善のテーマとして「アクティブ・ラーニング」を掲げ、学校全体で授業改善に取り組んできました。「アクティブ・ラーニング」とは、授業担当者が一方的に生徒に知識伝達をする授業スタイルではなく、生徒の能動的な学習を取り込んだ授業をいいます。「アクティブ・ラーニング」を充実するために、教材研究を綿密に行い、生徒にとってよりわかりやすく魅力的な授業を各教科で日々研究してきました。また、授業改善として、授業参観や研究授業も実施しました。この取組により、指導方法や教材の工夫に対して、多角的に捉えることで客観的な評価が得られ、情報共有を行い、その後の授業に役立ててきました。

今年度から学習習慣の定義や学力の向上を目指し、「週末課題」を実施しました。この取組は、来年度も授業改善の一環として継続していきます。

「生徒による授業評価」は、各授業に対するアンケートを全科目で実施することにより、授業改善に活かす有効な手立てです。生徒からの評価を通して授業に対する課題を改善して授業力向上に繋げ、学校としての組織的な授業力向上を図っていきます。

さまざまな面で、ご家庭との連携が特に重要であると考えます。連絡を密にし、より良い支援が出来ますようご協力よろしくお願いいたします。なお、ご質問やご意見がありましたら、問い合わせ先までご連絡ください。